



JAPAN SOCIETY OF BREAST HEALTH Annual Report

乳房健康研究会 アニュアルレポート 2015 ピンクリボン友だちアクション CONTENTS

はじめに

2014活動:ピンクリボン友だちアクション

1. コミュニケーション強化と的確な情報提供
2. 関連NPO団体や企業との連携“ピンクリボンネットワーク”

乳房健康研究会のあゆみ2000～2013年

乳房健康研究会を支援するプログラム



はじめに

いま日本女性の12人に一人が乳がんにかかるといわれ、亡くなる方は増え続けています。乳がんは予防することはできませんが、早期発見であれば90%以上が治癒します。早期発見は知識さえあれば可能です。自己検診を行い、精度の高いマンモグラフィ検診などの画像診断が受けられると、より早期発見率は高まります。

2000年春、私たちは乳がん早期発見による死亡数低下を願い、乳房健康研究会を組織しました。セミナー、出版、ピンクリボンバッジ運動、ウォーク&ラン大会など社会性の高い事業活動を行っており、2003年2月、日本の乳がん啓発団体で初めて特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受け、2011年4月には認定NPO法人の認証を受けるに至りました。

乳がん検診は1人1人が向き合う時代へ

2013年春、当会の新理事長に福田 護が就任、乳がん検診や治療などに関わるさまざまな分野の専門家が新しい理事として加わり、より多岐にわたる活動を展開できるように体制を強化しました。

日本のピンクリボン運動の高まりとともに、ピンクリボン運動やマンモグラフィについては広く知られるようになりましたが、検診は「知っているけれど、受けていない」人が多いのが現状です。伸び悩む乳がん検診受診率アップのためには、マスメディアやイベントなどを通しての社会全体への情報提供だけでなく、身近な人や友人・知人が個人に検診をすすめ、背中を押してあげる最後のひと押しが重要となってきます。そこで2013年秋、当会は、まわりの人に検診をすすめる、乳がんによさしい社会を目指す「人」をたくさんつくることを目的に、「ピンクリボンアドバイザー制度」を創設しました。

2014年はピンクリボンアドバイザーが活動をスタートし、乳がん検診を広める「友だちアクション」を全国各地で推進。その動きは、2015年に向けてさらに活発に、大きく広がっています。

人と人のつながりを大切に乳がん検診を推進するという、これまでより一歩踏み込んだ、日本ならではの取り組みに、多くの方が賛同し啓発の輪が広がっています。ピンクリボン運動の新たなステージに、一層のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

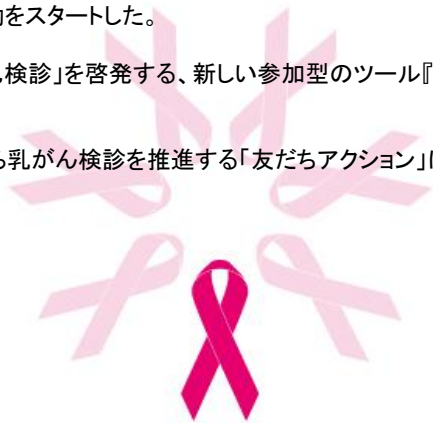
2014活動トピックス

ピンクリボン友だちアクション

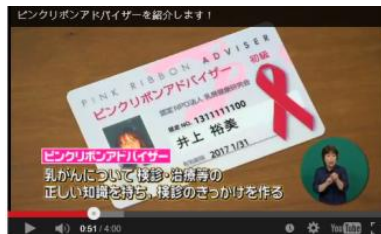
検診を広げ、乳がんしやすい社会を目指す「人」をたくさんつくることを目的に、2013年創設された「ピンクリボンアドバイザー制度」。2013年12月の第1回認定試験を受けて、2014年2月に初のピンクリボンアドバイザー2,069名が誕生し、各地で活動をスタートした。

また、楽しく歌って踊りながら「自己検診」を啓発する、新しい参加型のツール『ピンクリボン体操 第1』を開発した。

人と人のつながりを大切にしながら乳がん検診を推進する「友だちアクション」により、乳がん検診啓発の輪が広がっている。



1. ピンクリボンアドバイザー活動スタート



2. 参加型啓発ツール『ピンクリボン体操 第1』



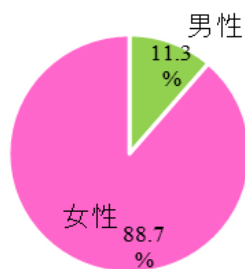
1. ピンクリボンアドバイザー活動スタート

ピンクリボンアドバイザー 4,350人へ広がる

健康のために知識を身につけたい人、ピンクリボン運動に興味がある人や現在かかわっている人、医療に関与している人に試験を受けていただき、合格者を「ピンクリボンアドバイザー」として認定する「ピンクリボンアドバイザー制度」。2013年12月の第1回の認定試験では、12歳から76歳まで、小学生から専門医まで、広い世代の多くの職種の方々2,069名がピンクリボンアドバイザーに認定された。2014年12月実施の第3回試験までで、ピンクリボンアドバイザーは合計4,350名に広がった。さらに、第3回試験からは中級試験も開始。受験資格のある初級認定者3,061名のうち1,090名の申込みがあり、835名が合格。すべての都道府県に中級認定者が誕生した。彼女・彼らが、エリアの核となってピンクリボン活動を推進するなど、今後の活躍が期待されている。

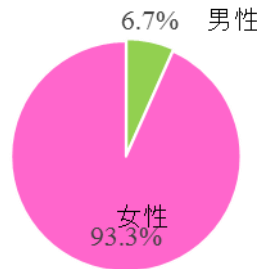
【初級合格者データ】

■男女比：第3回試験では、男性が10%を超える

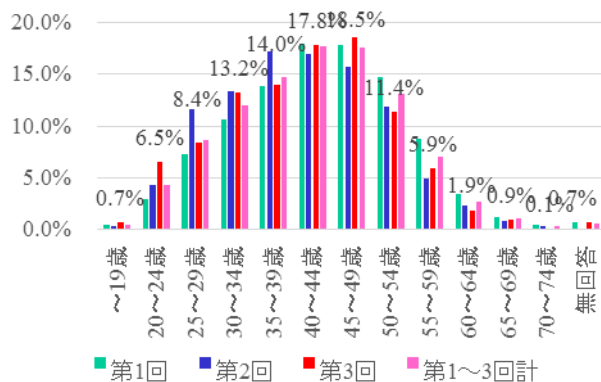


【中級合格者データ】

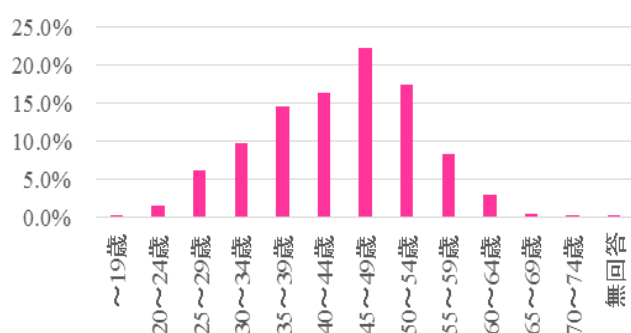
■男女比：女性が9割以上



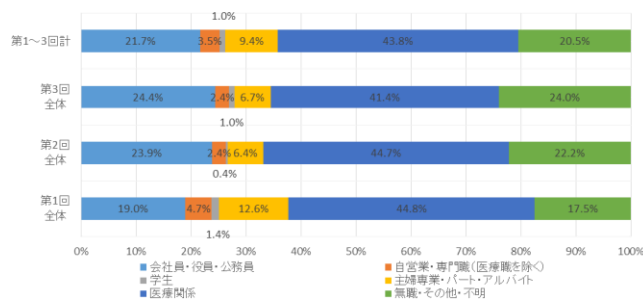
■年齢：平均年齢40.8歳



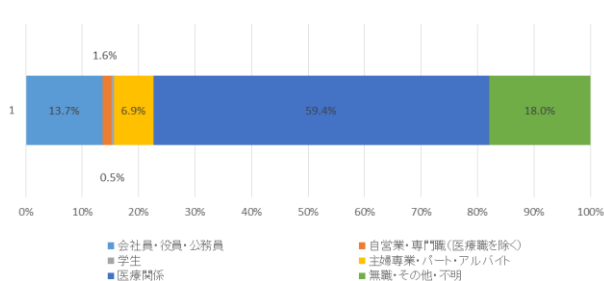
■年齢：平均年齢43.9歳、初級より高め



■職業：医療関係者が多いものの、
回を追うごとに会社員が増加傾向



■職業：初級に比べ医療者の比率が高い



中級試験開始、事前講習用DVDを開発

2014年12月の第3回試験からは中級試験も開始。試験の事前講習教材として、DVD『症例を通してまなぶ～ピンクリボンアドバイザーのできること』を開発した。

DVDでは、ピンクリボンアドバイザー中級として身に付けてほしいこと、まわりの人に伝えてほしいこと、啓発にあたっての注意点などを、専門的な画像を交えながら紹介。検診で右胸に石灰化が見つかり乳房温存手術を行ったAさんと、自己検診で右胸にしこりを発見、乳房切除術と同時に乳房の一次再建を行ったMさんをモデルケースに、ピンクリボンアドバイザーのできることを詳しく解説した力作となっている。

中級用DVD教材



2014年のピンクリボンウォークで初のお披露目

2014年2月に誕生したピンクリボンアドバイザーを、3月のピンクリボンウォークでさっそくお披露目。ボランティアとして、会場誘導や運営のサポートに協力してもらった。

「ピンクリボンカフェ／教えて自己検診！」のブースでは、自己検診のやり方を参加者に啓発し、大変好評だった。



マンモグラフィ工場見学 那須・鬼怒川研修会

乳がん検診について学び、ピンクリボンアドバイザー同士の交流を図るために、ピンクリボン研修会を開催。夏休み期間を利用して、8月に1泊2日で開催された第1回は、日本でマンモグラフィの国産メーカーを代表する東芝メディカルシステムズ(栃木県大田原市)を訪問。セミナー、画像診断装置の工場見学、ワークショップなど盛りだくさんの内容で、ピンクリボンアドバイザー9名、講師・スタッフ4名、合計13名が参加した。

* 協力: (株)東芝、東芝メディカルシステムズ(株)



各地でピンクリボンアドバイザーが活躍

現在、数多くのピンクリボンアドバイザーが各地で啓発活動に取り組んでいる。

また、ピンクリボン活動に携わっている人々の間でも、この制度は大変高い評価を受けている。「ピンクリボン団体のメンバーがピンクリボンアドバイザーになることで、団体の活動がより活性化した」「クリニックぐるみでピンクリボンアドバイザーを受験して、院内コミュニケーションがよかった」などの声が寄せられている。



愛媛県の広報番組でピンクリボンアドバイザーを紹介



2. 参加型啓発ツール『ピンクリボン体操 第1』

楽しく踊りながら、自己検診を学ぶ体操

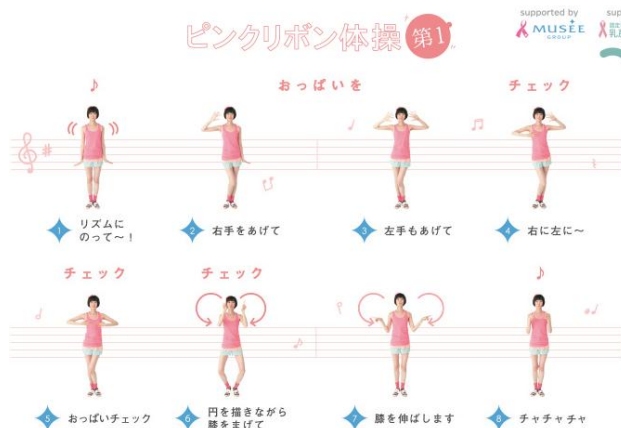
すべての女性が自分の体のことを大切に考え、ずっと健康でHAPPYでありますように、という願いを込めて、新しい参加型の啓発ツールとして、みんなで歌って踊れる楽しいピンクリボン体操を考案した。

この体操は、ピンクリボンアドバイザー中級用DVDにも盛り込み、活用を促進。㈱東芝主催のピンクリボンセミナーでも参加者にDVDを配布。2015年春のピンクリボンウォークでは準備体操として活用する。今後、みんなで踊る画像をYouTubeに投稿してもらうなど、楽しく参加してもらいながら、自己検診の輪を広げていく。



■協賛：一般財団法人 ミュゼ財団

ピンクリボン体操 第1



仲良し3姉妹『Pink Ribbons』が楽しく踊る体操。
「♪手のひらでサンドして 乳首にむかってしっかり
マッサージするよにチェック」♪シャボンの泡を す
べらせて 指策でくるくると バスタイムチェック」など、
自己検診の方法を歌と振付に盛り込む。



自己管理の重要性をテーマに乳がん情報を発信

日本で初めてブレストケアウォーク&ランを開催した乳房健康研究会。医療従事者と一般女性のコミュニケーション強化を図ることにより、正しい情報を伝達することを目的として、多岐にわたるイベントを開催・協力している。ホームページでは、乳がんの的確な情報を提供。さまざまな媒体からの情報提供の依頼や取材が増えており、乳房健康研究会の情報が信頼されていることがうかがえる。各種啓発ツールも多方面で活用されている。

第13回ミニウォーク&ラン フォー ブレストケア ピンクリボンウォーク2014

■日時: 2014年3月30日(日)

■場所: 日比谷公園

乳がんについて考えるきっかけになってほしい…。そんな思いからスタートした「ピンクリボンウォーク」。今年は「ピンクリボンアクション」をテーマに、「ピンクリボンウォークに参加する」、「検診に行く」、「ピンクリボンについて学ぶ」、「情報をシェアする」、「チャリティに参加する」など自分のできるやり方でピンクリボンに取り組むアクションを参加者に提案した。

残念ながら悪天候の中での開催となったが、参加者たちは、ステージで行われたブレストケアトークに傘をさしながらも真剣に耳を傾けていた。準備体操でも、小さいお子様から年配の方まで笑顔で楽しみながら体を動かしている姿がとても印象的であった。



ウォークのコースは、銀座や丸の内をめぐる2km、皇居をぐるりと回る5km、皇居外苑から千代田区をめぐるロングな10kmの3つ。ウォークコースには悪天候を吹き飛ばすかのように桜が咲き、参加者は桜を楽しみながらウォークに参加していた。参加者はそれぞれピンクのものを身につけたり、ピンクのキャラクターの着ぐるみで参加される方もおり、ピンクリボン運動に対しての参加意識の高さを実感することができた。



また、今年もたくさんのボランティアの方が集まり、前日のお土産アッセンブリ作業、ウォークカードの紐通しにも協力いただいた。さらに、今年初の試みとしてピンクリボンアドバイザーの資格をもつボランティアで運営を行う、「ピンクリボンカフェ/教えて自己検診!」のブースを設置。あったかいドリンクの無料提供をしながら、参加者とお話しをしたり、自己検診のやり方を教えるといった、とても賑わいのあるブースであった。

ウォーク参加者、ボランティア共に、男性、女性幅広い年齢層の方々が集まり、乳がんに対する知識がたくさんの方々に広まっていると感じた。生憎の天気の中も笑顔が溢れる、とても温かい大会となった。

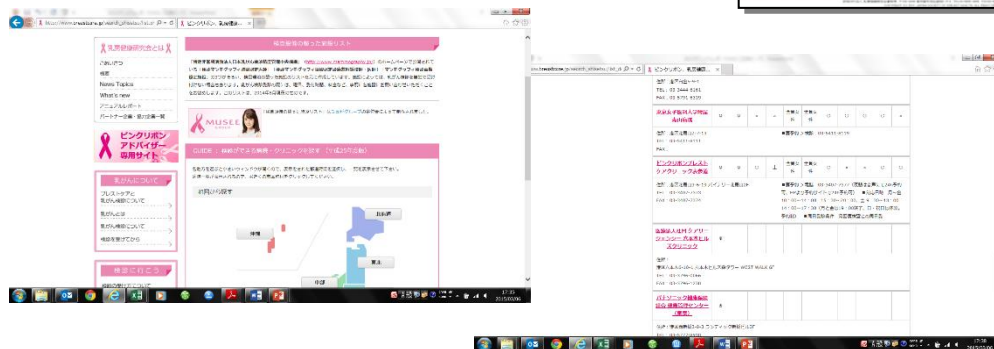


信頼される乳がん情報、充実した啓発ツール

乳がんの的確情報の提供とともに、今年取り組んださまざまな活動を紹介しているホームページ。ますます内容が充実し、アクセス数も着実に増加している。

2014年は、「検査設備の整った施設リスト」をリニューアル。従来のエリア別に加え、受診者に役立つ検索項目を追加。検査設備（マンモグラフィ／エコー）、診療時間（休日／夜間）、担当スタッフ（女性医師／女性技師）、同日受診が可能な検診（生活習慣病／婦人科／肺／胃）で、希望する条件にあてはまる施設が一覧できるようになった。

＊協賛：一般財団法人 ミュゼ財団



【さまざまな啓発ツール】

乳がんの啓発ツールやチャリティグッズ（書籍、パンフレット、シャワーカード、DVD、切手、ピンクリボンバッジなど）を作成しホームページで販売しており、各方面で活用されている。最近では、さまざまな企業がオリジナルのピンクリボン啓発ツール制作をおこなっている。

雑誌、新聞、テレビ、インターネットなどのさまざまな媒体からの情報提供の依頼や取材が増えており、乳房健康研究会の情報が信頼されていることがうかがえる。

■啓発リーフレット



■書籍



■シャワーカード



■切手



学会・研究会へ出展し、ツールを紹介

専門家に乳がん早期発見の大切さを伝えることにより、それぞれの専門家に乳がん啓発活動の一端を担ってもらうため、学会・研究会や各地の市民公開講座等へ出展。講師の派遣、乳がん啓発ブースの設置、啓発ツール紹介、チャリティグッズの販売をおこなう。

出展	会期	会場
日本乳癌学会	7月10～12日	大阪国際会議場
日本看護学会一看護教育一学術集会	9月17.18日	新潟コンベンションセンター 朱鷺メッセ
日本乳癌検診学会	11月8、9日	ベイス文化ホール
パンフレット配布	会期	会場
日本糖尿病教育・看護学会	9月20日	長良川国際会議場、他
日本看護学会 在宅看護	10月2日、3日	山形テレサ
日本看護学会 精神看護	10月16日、17日	キッセイ文化ホール
日本看護学会 急性期	10月22日、23日	パシフィコ横浜

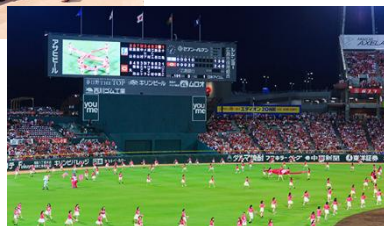
ピンクリボンの裾野を広げる

乳がん啓発活動に関わるNPOや各種団体と連携し、団体主催の各種セミナーへの講師派遣、啓発ツールの提供をおこなう。ピンクリボンの輪が全国に広がっている。乳がん啓発活動を展開している企業との連携活動も推進。企業のコミュニケーション力により、正しい乳がん情報が広く普及していく。

各地のピンクリボン活動をサポート

全国各地のピンクリボンイベントに協力し、イベント共催、講師の派遣、ブース出展、啓発パネル貸し出しなどを精力的におこなう。

時期	イベント
4月	つくばピンクリボンフェスティバル2014 / NPO法人つくばピンクリボンの会
5月	埼玉西武ライオンズ LIONS HAPPY MOTHER'S DAY
	大丸松坂屋 母の日キャンペーン
	15thゴスペル東京チャリティーコンサート /15thゴスペル東京チャリティーコンサート実行委員会
6月	米子ピンクリボンフェスタ2014
9月	川崎競馬 NPOの活動を応援しよう〜かにゃお杯
10月	ピンクリボンフェスティバル(東京、神戸、仙台)
	各地のスマイルウォーク・シンポジウム/日本対がん協会他
	ピンクリボン全国大会&東山参道周辺スタンプラリー(京都)
	墨田区がんパネル展
	レントゲン週間「放射線展」(茨城県診療放射線技師会)
	ピンクリボン in 郡山
11月	ピンクリボン in 戸田
	明治安田パイレーツ
	ピンクリボンフェスティバル 関西セミナー
	Nurse Happy Collection2014 /Nurse Happy Collectio実行委員会
12月	Woman's CLV21 001 (2014東京国際クリーニング総合展示会) /クリーニング業を営む女性経営者によるチーム
	NIPPON女性からだ会議



カープ女子が大集合のピンクリボンdeカープ。
2015は黒田男子もピンクリボン！



アメフトの試合会場で
ピンクリボン



かにゃおです

企業とのタイアップ

協賛や直接的な寄付に加えて、広報・販売促進活動の中で社会貢献活動を行う「コーズ・リレイティッド・マーケティング」による支援も増加している。乳房健康研究会は主としてコンテンツを提供。企業の告知力・コミュニケーション力により、正しい乳がん情報が広く普及していく。

企業	内容
アスクル	オリジナル紙コップの売り上げの一部を寄付
川辺	ママバッグの売り上げの一部を寄付
花王グループ	店頭での啓発活動。ピンクリボンアプリの開発と寄付キャンペーン
クロスカンパニー	10ブランドから、対象商品の売り上げの5%を寄付
佐藤食品工業	饅頭、切り餅の売り上げの一部を寄付
シグマスタッフ	派遣社員へ乳がん啓発。登録人数に応じて寄付
ジャパンビバレッジ	自動販売機の売り上げの一部を寄付
スリーエムヘルスケア	聴診器等の売上の一部を寄付
3M	アマゾンでの日用品の売り上げの一部を寄付
ソーラー ホテルズ アンド リゾーツ	チサンホテルの宿泊費の一部を寄附
東京コカ・コーラボトリング	自動販売機の売り上げの一部を寄付
日本ホールマーク	母の日カードの売り上げの一部を寄付
鳴海製陶	フェリシタシリーズの売り上げの一部を寄付
ヌーヴ・エイ	店頭での募金による寄付
三越伊勢丹	ピンクリボンバジ運動による寄付
リベルタ	フットケア商品の売り上げの一部を寄付
ユナイテッドアローズ	対象商品やオリジナルピンクリボングッズの売り上げ一部を寄付
ワコール	ネット上のピンクリボン検定の回答1回につき3円の寄付、ほか
ほか多数	



月に1回、セルフチェック！



乳房健康研究会のあゆみ

2000年

- 5月 乳房健康研究会発足
- 9月 第1回セミナー「もっと乳がんを知ろう」開催(東京・プラザエフ)

■乳房健康研究会設立メンバー

2000年春、日本女性の乳がんによる死亡数低下を願い、4人の医師が集まり発足した。



野末悦子
コスモス女性クリニック
院長



轟 富士雄
順天堂大学医学部
附属順天堂医院
乳腺センター長



福田 護
聖マリアンナ医科大学
ブレスト&イメージング
センター院長



島田葉穂子
ピンクリボンブレスト
ケアクリニック表参道
院長

2001年

- 3月 『20歳を過ぎたらブレストケア』出版 プレスセミナー開催(東京)
- 7月 乳癌最新情報カンファランス会場にてピンクリボンバッジ運動スタート
- 9月 第2回セミナー「乳がん早期発見のための取り組み～女性医療と乳がん～」開催(東京・プラザエフ)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボンバッジ運動

アメリカで乳がん啓発のシンボルマークとして広く知られているピンクリボン。このバッジを多くの方々につけていただくことで、乳がんの早期発見をよびかけている。



■出版、啓発ツール制作

『20歳を過ぎたらブレストケア』を出版以降、マンモグラフィの特徴や撮影方法などをわかりやすくまとめた「マンモグラフィQ&A」、乳がんの基礎知識をまとめた「乳がんQ&A」などの啓発ツールを制作し、さまざまなルートで活用していただいている。



2002年

- 3月 第1回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア開催(東京・国営昭和記念公園)
- 9月 第1回ウオーク フォー ブレストケア開催(東京・お台場)
- 9月 「マンモグラフィQ&A」制作
- 12月 東京ミレナリオ沿道にて「ピンクリボンプラザ」開設
- 10月～翌年1月 乳がん検診のバリア調査(一般女性)
- 11月 乳がん検診のバリア調査(全国自治体)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ウオーク&ランの開催

一般女性、乳がん経験者、男性も子どもも参加できるウオークやラン。アメリカで広くおこなわれているこのような乳がんイベントを日本で初めて開催した。サブイベントとしてマンモグラフィ検診や乳房健康相談、ブレストケアトークなどをおこない、楽しい中にも乳がんの正しい知識を持ていただけるような内容で、医療従事者と一般女性のコミュニケーションを深めている。



2003年

- 2月 内閣府より特定非営利活動法人(NPO法人)認証
- 3月 第2回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 開催(東京・国営昭和記念公園)
- 4月 第3回セミナー「なぜ検診に行かないの？乳がん検診のバリアをなくそう」開催(東京・ヤマハホール)
- 5月 ウォークフォー ブレストケア 2003 大阪 開催(大阪・大阪城公園)
- 8月 「乳がんQ&A」制作
- 9月 ピンクリボンウォーク2003開催(東京・代々木公園)
- 10月 朝日新聞社主催「ピンクリボンフェスティバル」(東京・六本木ヒルズ)への支援
- 11月 第13回日本乳癌検診学会(群馬)にて乳がんのバリア調査報告ならびにピンクリボン運動出展
- 11月 米国の乳がん啓発団体「スーザン・G・コーメン・ブレストキャンサー・ファンデーション」とタイアップしてプレスセミナーを開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診のバリア調査

乳がんの基礎的な資料整備のため、企業、行政、団体のご協力をいただきながら、乳がんに関する調査の設計、実施、データの公表をおこなっている。2002～3年には、乳がん検診受診率がなぜ低いのかを探る「乳がん検診のバリア調査」を実施。全国3,247自治体と一般女性(東京、愛媛)への調査をおこない、自治体の乳がん検診の考え方や実態や女性たちの検診意識を明確化した。この調査はたびたびメディアでも取り上げられている。



2004年

- 2月 『すべての女性にプレストケア』出版
- 3月 第3回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京都・国営昭和記念公園)
- 8月 三重県乳がんプロジェクトの一環の県民公開講座を支援
- 9月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 10月 関西国際空港10周年記念ピンクリボンウオーク関空2004 開催(大阪・関西国際空港)
- 10月 「チャートでチェック!乳がん検診 私はどこに行ったらいいの?」
「プレストケアと乳がん検診についてお話ししよう」作成
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■信頼できる乳がん検診情報の提供
活動開始から5年目、NPO法人化2年目の2004年はさらに戦略的な活動を本格化。「信頼できる乳がん検診情報の提供」をテーマに、乳がん検診受診率アップのためのさまざまな活動を展開した。制作物では「すべての女性にプレストケア」を出版ほか、検診施設の選び方のチェックチャートを作成しホームページでも紹介。



ピンクリボンウオーク関空で
日本初!ピンクリボン人文字



乳がん検診が初めての人への
ナビゲーションとなる1冊

2005年

- 1月 マンモグラフィ講習会を開催(三重、久留米)
- 3月 第4回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京都・国営昭和記念公園)
- 6~7月「乳がん検診は今」調査実施(一般女性、都道府県、自治体、健保組合対象)
- 8月、9月 三重県乳がんプロジェクトの一環の市民公開講座(四日市)を共催
- 9月 プレスセミナーを開催、「乳がん検診は今」調査結果発表(東京)
- 11月 日本乳癌検診学会(京都)にて「乳がん検診は今」調査結果発表
- 11月 市民公開講座(京都)にて「乳がん検診は今」調査結果発表
- 12月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「乳がん検診は今」調査
2002~3年の「乳がん検診のバリア調査」の時点から、わが国の乳がん検診をとりまく状況は大きく様変わりした。今日の状況と課題を把握する目的で「乳がん検診は今」プロジェクトを立ち上げ、日本の乳がん検診を網羅する4つの調査を実施した。



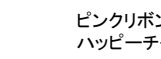
2006年

- 3月 第5回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・潮風公園)
- 4月 ITEM(医学放射線学会・放射線技術学会)市民公開講座(横浜)支援
- 5・6月 マンモグラフィ講習会を開催(鹿児島)
- 6~11月ノバルティス乳がん検診キャラバン(北海道・宮城・東京・愛知・大阪・福岡)
- 9月・11月・翌年1月 乳がん検診受診率向上実践セミナー開催(東京)
- 10月 ピンクリボンハッピーチャレンジ「ランチセミナー」(センチュリーハイアット東京)
- 10月 順天堂乳腺センター市民公開講座 支援
- 11月 ピンクリボンハッピーチャレンジ「文化放送ミスDJリクエストパレード」
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診をもっと身近なものに
2005年調査を受けて、乳がん検診をもっと身近に感じてもらうための活動に新たに取り組んだ。



ノバルティス乳がん検診
キャラバン



ピンクリボン
ハッピーチャレンジ



乳がん検診受診率向上
実践セミナー

2007年

- 2月 日本乳癌画像研究会(東京)に出展
- 3月 順天堂乳腺センター市民公開講座(東京) 支援
- 6~11月ノバルティス乳がん検診キャラバン(熊本・愛媛・岡山・北海道・山形・茨城・東京)
- 9月 プレスセミナーを開催、「一般女性意識行動調査」結果発表(東京)
- 11月 乳がん検診受診率向上実践セミナー開催(大阪)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診受診率50%に向けて<一般女性意識行動調査>
2007年は、同年6月にがん対策基本計画に「乳がん検診受診率50%」との目標が盛り込まれたことを受け、NPO法人として実現に向けての活動の方向を探るための3度目の調査を実施した。



2008年

- 1月 マンモグラフィ講習会を開催(鹿児島)
- 3月 第7回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 4~11月 ノバルティス乳がん検診キャラバン(長崎、広島、高知、山梨、岩手、北海道、千葉)
- 5月 hideメモリアルサミット
- 9~11月 Over the ピンクリボン企画
- 10月 ピンクリボンブラザ@表参道ヒルズ、ピンクリボンブラザ@四日市
- 10月 「Breast Cancer Global Congress」に参加
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「ピンクリボンブラザ」開催

検診受診率アップの為に、女性の日常生活に密着した場所での啓発が大切と考え、東京・表参道ヒルズ、三重・四日市北イオンショッピングセンターで「ピンクリボンブラザ」を開催。乳がんに関する正しい知識や、一人一人に合った情報を紹介し、乳がん検診・診療への行動を促した。また、乳がん検診や診療について気軽に相談でき、生涯にわたり健康のサポート役となる乳房の主治医「ピンクリボンドクター」を見つけるヒントを提供した。



2009年

- 3月 第8回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 4~10月 ノバルティス乳がん検診キャラバン(福岡、山口、奈良、三重、神奈川、香川、大阪、青森、秋田)
- 10月 ピンクリボンブラザ@新宿を開催
- 10月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 11月 日本乳癌検診学会(東京)で調査結果発表
- 11月 プレスセミナーを開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「ピンクリボンブラザ@新宿」開催

検診に行きたいと思っている女性の疑問や不安を解消し、すぐに具体的に役立つ情報の提供を行うことを目的に、乳がん検診について知りたい内容をコンパクトに整理して提供した。

セミナーでは、乳がん検診の基礎についての講演と自己検診の方法とマンモグラフィの撮影方法のデモンストレーションに続き、中井美穂さんをゲストに迎えてパネルディスカッションを行った。

セミナーの様子は、新宿駅前の「アルタビジョン」でも放映された。



2010年

- 3月 第9回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 5月 ノバルティス乳がん検診キャラバン(大手町、新宿)
- 5月 マンモグラフィ講習会を開催(福岡)
- 5月 日本超音波検査学会(大阪)に出展
- 6月 日本乳癌学会(札幌)に出展
- 9月 PINK RIBBON GLOBAL CONFERENCE 2010 開催
- 9月 マンモグラフィ講習会を開催(熊本)
- 11月 日本乳癌検診学会(福岡)に出展
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■PINK RIBBON GLOBAL CONFERENCE 2010

設立10周年を記念して、東京で日本初のピンクリボンカンファレンス開催した。米国、韓国をはじめ国内外から最先端の講師を招き、全国から集まった32のピンクリボン団体、延べ500人近い参加者とともに活発な議論が交わされた。



2011年

- 4月 すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン (東京・墨田区)スタート
- 9月 日本乳癌学会(仙台)出展
- 9月 プレスセミナーを開催、「一般女性意識行動調査」結果発表(東京)
- 10月 ピンクリボンウオーク in すみだ(東京・錦糸公園)
- 10月 日本乳癌検診学会(岡山)出展
- 11月 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト in 南三陸(宮城)開催
- 11月 鹿児島撮影技師更新講習会、鹿児島読影更新講習会を開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン

ピンクリボン運動を継続・高めるための新しいスタートとなる2011年は、乳がん検診の受診率を上げるとい課題に向かって、行政、医療機関、各種団体、地域企業、地域メディアとともに協働する体制づくりに取り組む。



2012年

- 1月～ すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン（東京・墨田区、前年より継続）
- 3月 第11回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 開催（東京・日比谷公園）
- 6月 日本乳癌学会（熊本）出展
- 9月 ピンクリボン運動自治体担当者会議
- 9月 ピンクリボンウオーク in すみだ（東京・錦糸公園）
- 11月 日本乳癌検診学会（沖縄）出展、すみだの事例を発表
- 11月 ピンクリボンカフェ in 郡山
- 6～7月 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト in 南三陸 乳がん検診助成
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン
行政、医療機関、各種団体、地域企業、地域メディアとともに協働する取り組み[ピンクリボン エリアキャンペーン]を2012年も継続展開。乳がん検診受診率向上の成功モデルを完成させるとともに、墨田区のメニューと成功事例を全国に広める活動にも取り組んだ。



2013年

- 3月 第12回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 開催（東京・日比谷公園）
- 6月 日本乳癌学会（浜松）
- 8月 日本看護管理学会（東京ビ）
- 9月 日本糖尿病教育・看護学会（横浜）
- 9月 プレスセミナーを開催
- 11月 ピンクリボンブラザ in 岩手 ～東北の女性の元気とキレイを応援～
- 11月 日本乳癌検診学会（東京）
- 11月 医療の質安全学会（東京）
- 12月 第1回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボンアドバイザー制度スタート
検診を広げ、乳がんにやさしい社会を目指す「人」をたくさんつくることを目的に、2013年、「ピンクリボンアドバイザー制度」を創設。人と人のつながりを大切にしなが乳がん検診を推進する「友だちアクション」により乳がん検診啓発の輪を広げていく活動をスタートさせた。



認定NPO法人乳房健康研究会 理事一覧

2014年～2015年

■理事長



福田 護
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター院長

■副理事長



野末 悦子
介護老人保健施設
「樹の丘」施設長



島田 菜穂子
ピンクリボンプレストケ
アクリック表参道
院長



竹田 寛
桑名市総合医療セン
ター理事長

■理事



阿部 恭子
千葉大学大学院看護
学研究科付属
看護実践研究指導セ
ンター特任准教授



遠藤 登喜子
東名古屋病院
乳腺科診療医長



大和 まや
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター



岡山 慶子
朝日エルグループ会長

■理事



小泉 美都枝
聖マリアンナ医科大学
川崎市立多摩病院画
像診断部
技術課長補佐



小林 茂樹
三重大学医学部 健診
センター
健診センター長



嶋森 好子
東京都看護協会
会長



鈴木 久美
大阪医科大学
看護学部教授

■理事



津川 浩一郎
聖マリアンナ医科大学
大学病院
乳腺・内分泌外科部長



土井 卓子
湘南記念病院かまくら
乳がんセンター
乳がんセンター長



中村 清吾
昭和大学医学部 乳腺
外科部門
主任教授



畠山 雅行
労働衛生コンサルタン
トオフィス畠山

■理事



山内 英子
聖路加国際病院
乳腺外科部長・
プレストセンター長



高木 富美子
認定NPO法人
乳房健康研究会
事務局



戸倉 輝彦

■監事

乳房健康研究会を支援するプログラム

乳がん検診を受ける、早期発見の大切さを伝える。ピンクリボン運動に企業・団体や個人が気軽に参加していただくために、受診率向上を目的としたさまざまな活動へのサポートプログラムを提案。主なプログラム5種類について、特徴や具体的な支援方法をまとめた。

ピンクリボン サポート プログラム

■ピンクリボンプレストケア募金

当会の年間を通じた活動全般を支援

○支援方法：寄付金や募金箱・チャリティーオークションなどでの募金を寄付。

■ピンクリボンバッジによる寄付 ＜ピンクリボンバッジ運動＞

ピンクリボンバッジによる早期発見啓発活動とピンクリボン運動への寄付を一体化

○支援方法：500円以上の寄付につき、1つのピンクリボンバッジセットを贈呈。

■協賛

調査、イベントなど大規模な主催事業に対する協賛

○支援方法：協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、事務局にお問合せください。
事務局が企画内容と協賛メニューを提案。



■ピンクリボンパートナー

当会とともにピンクリボン運動による社会貢献を始めたい企業・団体が気軽に利用できる、1年更新のプログラム。

ピンクリボンパートナーとして登録いただくと、ピンクリボンマークやロゴマーク、啓発ツールなどをご提供。

【寄付額】年間20万円以上の寄付、または35万円以上のピンクリボンバッジによる寄付

○支援方法：協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、ピンクリボンパートナー申込書を提出ください。

■タイアップ

企業・団体がピンクリボン運動による社会貢献を実現するためのタイアップ企画。企画段階からのオリジナルプログラム開発や企業・団体の提案企画の実施など。

【タイアップ例】

①啓発キャンペーン 女性顧客啓発のためのオリジナルツールの作成、当会啓発ツールの活用

②商品販売キャンペーン ピンクリボン運動への協力を表示した商品の販売、売上金の一部を寄付

③応募キャンペーン 懸賞応募はがきなどの枚数に応じた寄付

④ポイント提供 顧客にポイントを加算、顧客がポイントを利用して当会に寄付

⑤イベント開催 チャリティイベント開催による寄付

⑥クリックキャンペーン HP上に乳がん啓発ページを作成し、クリック数に応じて寄付

○支援方法：協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、事務局までお問合せください。

2014年 主な協賛・寄付・啓発ツール活用法人および団体(50音順)

C's RACQUET CLUB	花王株式会社
Feel	株式会社カネボウ化粧品
JA共済連 島根	株式会社KFサポート
JRタワーホテル日航札幌	株式会社アートネイチャー
TAD三芳株式会社	株式会社イノス・ジャポン
アスクル株式会社	株式会社クロスカンパニー
アトリエ ラグジュアリーローズ	株式会社コープネット保険センター
アラガン・ジャパン株式会社	株式会社ジャパンビジネスマネジメント
イオンリテール株式会社	株式会社ジャパンビバレッジ
エーザイ株式会社	株式会社ジンコーポレーション
オートバックス健康保険組合	株式会社トミーズスター
オリックス千駄ヶ谷 株式会社大京	株式会社ナチュラビューリファイ研究所
カットショップ ショーン	株式会社ヌーヴエイ
株式会社中北製作所	株式会社ハーマン
キムラ工業株式会社	株式会社ビューティプラス
キャンノンライフソリューションズ 関西事務センター	株式会社ユナイテッドアローズ
ゴスペル東京・すぎなみピンクリボン活動部	株式会社リベルタ
佐藤食品工業株式会社	株式会社ルック
サラヤ株式会社	株式会社レオパレス・リーシング
シーメンス・ジャパン株式会社	株式会社ワコールホールディングス
ジェイエムシー株式会社	株式会社協和プリント
シチズン電子株式会社	株式会社三越伊勢丹
社団法人日本家族計画協会	株式会社社会保険出版社
ジェクス株式会社	株式会社新潟三越伊勢丹
スズキ記念病院	株式会社千趣会
スリーエムジャパン株式会社	株式会社大丸松坂屋百貨店
スリーエムヘルスケア株式会社	株式会社大京エル・デザイン
ソラーレホテルズアンドリゾーツ株式会社	株式会社東京堂
ナチュラル株式会社	株式会社東芝
ピンクリボンプレストケアクリニック表参道	株式会社東日本朝日広告社
メドライン・ジャパン合同会社	株式会社桃谷順天館
有限会社インターナショナル・スポーツ・プランニング	株式会社日本ホールマーク
有限会社スタイルバイク	刈谷市
有限会社花花	公益財団法人健康予防医学財団 ヘルスケアクリニック厚木
リコーリース株式会社	国保日高総合病院
医療法人健人会益子病院	糸島医師病院
医療法人健智会 富松レディースクリニック	新潟県三条地域振興局長
医療法人光星	成田市役所
医療法人定生会 谷口病院	東芝メディカルシステムズ株式会社
一般財団法人ミゼ財団	千歳市
一般財団法人神奈川県労働衛生福祉協会	川辺株式会社
一般財団法人全日本労働福祉協会	日本健康倶楽部
一般社団法人日本エステティック協会	富士フィルムメディカル株式会社
宇治武田病院	明治安田生命保険相互会社
横須賀市	鳴海製陶株式会社
横浜中央病院	獨協医科大学病院 Seiko Lee soprano
家田ケミカル株式会社	